

| 科目名 | 特別講演 Special Lecture | | | 担当教員 | 招待講師 | | |
|------|--|------|----|------|------|------|--|
| | 学 年 | 学 期 | 通年 | | 履修条件 | 単位数 | |
| 分 野 | 専門・一般 | 授業形式 | 講演 | 科目番号 | | 単位区分 | |
| 学習目標 | 目標区分(A)：倫理—広い視野と技術者としての倫理観 | | | | | | |
| | 各界で活躍されている方々をお招きし、先端の話題について講演頂き、視野を広めると共に技術者としての倫理観を高める。 | | | | | | |
| 進め方 | 原則として一月一回、木曜日4限目に不定期に実施する。 | | | | | | |
| 講演内容 | 平成23年度実施内容については、決定次第、周知します。 | | | | | | |
| | <p>以下は、平成22年度実施内容</p> <p>平成22年</p> <p>5月 「膜の花を世界に咲かせる」 能村 光太郎 氏 (太陽工業株式会社 代表取締役会長兼社長)</p> <p>6月 「社会資本ストックの戦略的維持管理～管理者が知らなければならないこと～」 西川 和廣 氏 (国土交通省国土技術政策総合研究所 所長)</p> <p>9月 「思うは招く—夢があればなんでもできる—」 植松 努 氏 (株式会社カムイスペースワークス 代表取締役)</p> <p>10月 「機能する組織作り＝コミュニケーション能力＝」 森本 省治 氏 (元 日揮株式会社 代表取締役社長兼最高執行責任者 (COO)、高松高専第一期生)</p> <p>10月 「分散性土による盛土の斜面侵食の防止法について」 Prof. Supakij Nontananandh (Dean of Faculty of Science and Engineering, Kasetsart University (Thailand))</p> <p>11月 「3次元計測を用いた歴史的建造物の記録保存手法」 西村 正三 氏 (株式会社計測リサーチコンサルタント 取締役クリエイティブ事業部 部長)</p> <p>12月 「韓国におけるグリーンレメディエーションの現状と展望」ならびに「ソウル大学工学部の紹介」 Prof. Junboun Park (Associate Dean for International Affairs Director, Technology Incubation Network Department of Civil and Environmental Engineering, College of Engineering, Seoul National University)</p> <p>12月 「微量放射線の健康への影響と医療・健康増進への応用の可能性」 山岡 聖典 氏 (岡山大学大学院 (医学部) 教授)</p> <p>平成23年</p> <p>1月 「これからの日本を考える」 小川 淳也 氏 (衆議院議員)</p> <p>1月 「An Introduction of Cheng Shiu University and Possible Collaboration & Joint Research.」 Prof. Jon-Chou Hsiung (Assistant Professor Engineering Research & Technology Center Department of Mechanical Engineering, Graduate Institute of Mechatronics Engineering Cheng Shiu University)</p> <p>1月 「海外の現場をふりかえって～技術者としての可能性～」 片山 裕之 氏 (JICA 四国 業務課長) 山下 理香 氏 (JICA 四国 香川県国際協力推進員)</p> <p>2月 「四国から日本の元気をとりもどす～四国地域の活性化に向けた課題と今後の方向～」 加藤 元彦 氏 (経済産業省 四国経済産業局長)</p> <p>2月 「核融合発電の展望と超伝導技術」 柳 長 門 氏 (自然科学研究機構 核融合科学研究所 准教授)</p> | | | | | | |
| 教 材 | 適宜 | | | | | | |
| 備 考 | | | | | | | |